

15:24

1/6

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第21240報)

2020年6月22日15時15分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [6月22日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果 [採取日 6月21日] ・福島第一原子力発電所構内排水路分析結果 [採取日 6月21日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水 [採取日 6月21日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。 <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクGの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、6月23日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果 [採取日 06月18日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の(有)・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

2/6

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2020年6月22日 11:00現在

(設備事項)
各計測器については、地震やその他の異常の影響を受けて、通常の使用範囲を超えているものもあり、正しく測定されていない可能性があります。計測器の故障やプラントの状態を把握するために、このような計測器の不確かさを考慮して、複数の計測器から得られる情報を活用して変化の傾向を把握し、総合的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 1.5 m ³ /h CS系: 1.4 m ³ /h (6/22 11:00 現在)	給水系: 1.4 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (6/22 11:00 現在)	給水系: 1.5 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (6/22 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 22.4 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 22.2 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 22.2 °C (6/22 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 27.7 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 29.1 °C (6/22 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 25.5 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 24.5 °C (6/22 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 22.5 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 22.3 °C (6/22 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 28.3 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 27.7 °C (6/22 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 26.1 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 24.0 °C (6/22 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.13 kPa g (6/22 11:00 現在)	1.81 kPa g (6/22 11:00 現在)	0.39 kPa g (6/22 11:00 現在)	
蒸気封入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nm ³ /h (RVH-B): 15.20 Nm ³ /h (JP-A): 14.49 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (6/22 11:00 現在) ※4	RPV-A: 5.78 Nm ³ /h RPV-B: 5.84 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (6/22 11:00 現在) ※4	RPV-A: 7.85 Nm ³ /h RPV-B: 7.61 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (6/22 11:00 現在) ※4	
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	260 m ³ /h (6/22 11:00 現在)	14.80 Nm ³ /h (6/22 11:00 現在)	19.77 Nm ³ /h (6/22 11:00 現在)	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (6/22 11:00 現在)	A系: 0.06 vol% B系: 0.07 vol% (6/22 11:00 現在)	A系: 0.14 vol% B系: 0.13 vol% (6/22 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 1.29E-03 Ba/cm ³ 検出限界値 3.60E-04 B系: 指示値 1.20E-03 Ba/cm ³ 検出限界値 3.40E-04 (6/22 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.5E-01 Ba/cm ³ B系: 指示値 ND 検出限界値 1.4E-01 Ba/cm ³ (6/22 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 2.1E-01 Ba/cm ³ B系: 指示値 ND 検出限界値 2.1E-01 Ba/cm ³ (6/22 11:00 現在)	
使用済燃料プール 水温度	31.5 °C (6/22 11:00 現在)	29.1 °C (6/22 11:00 現在)	27.3 °C (6/22 11:00 現在)	※5 (6/22 11:00 現在)
FPC 注水ノック 水位	3.34 m (6/22 11:00 現在)	4.55 m (6/22 11:00 現在)	4.49 m (6/22 11:00 現在)	67.3 X100mm (6/22 11:00 現在)

【注】
※1: 指示値が0.00 vol%に転換する。(水素濃度が極めて低い場合は、計測精度によりマイナス表示される場合があるため)
※2: 指示値が検出限界値以下の場合は0.00に転換する。原子炉格納容器ガス管理システムAの放射能濃度 (Xe135) を記載する。
※3: 使用状態の確認・圧力調整確認した後に記載する。
※4: 異常封入停止中
※5: 4号機使用済燃料プール水素濃度-水素示すノック停止露出中

2020年6月22日
集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果

I-131 (Bq/L)

Table with columns for measurement date (6/7 to 6/21) and rows for measurement locations 1-9. Data values are mostly ND (Not Detected).

Cs-134 (Bq/L)

Table with columns for measurement date (6/7 to 6/21) and rows for measurement locations 1-9. Data values are mostly ND (Not Detected).

Cs-137 (Bq/L)

Table with columns for measurement date (6/7 to 6/21) and rows for measurement locations 1-9. Data values are mostly ND (Not Detected).

- <測定場所>
①4号T/B建設區南東
②プロセス主建屋北東
③プロセス主建屋南東
④プロセス主建屋南西
⑤埋固体廃棄物減容処理建屋南
⑥サイトハンカ建設區西
⑦焼却工作建屋 西側
⑧埋固体廃棄物減容処理建屋北
⑨サイトハンカ建設區南東

※「-」はサンプリング測定を実施していないことを示す。
※⑥は④が採取不可となったため、地下水流の上流側として測定し、週1回程度の頻度で測定(2011/4/29~)
※⑦は地下水流の下流側であることから、追加で測定(2011/5/28~)
※⑧を追加で測定(2011/5/30~)
※⑨を追加で測定(2011/8/2~)
※⑩は検出限界値未満を示し、() 内に検出限界値を示す。

2020年6月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所構内排水路分析結果

単位: Bq/L

	A排水路			物揚場排水路		
	6月19日	6月20日	6月21日	6月19日	6月20日	6月21日
採取日	6月19日	6月20日	6月21日	6月19日	6月20日	6月21日
採取時刻	7:39	7:30	7:28	7:43	7:35	7:32
降雨量(mm/日)	16.5	0.5	0	16.5	0.5	0
流量(m ³ /秒)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中
Cs-134(約2年)	ND(0.66)	ND(0.52)	ND(0.57)	ND(0.53)	ND(1.2)	ND(0.84)
Cs-137(約30年)	8.5	7.3	8.0	1.9	3.6	2.3
全β	16	13	8.2	3.8	8.7	3.4
H-3(約12年)	-	-	-	-	-	-

単位: Bq/L

	K排水路			BC排水路		
	6月19日	6月20日	6月21日	6月19日	6月20日	6月21日
採取日	6月19日	6月20日	6月21日	6月19日	6月20日	6月21日
採取時刻	6:00	6:00	6:00	7:00	6:00	6:00
降雨量(mm/日)	16.5	0.5	0	16.5	0.5	0
流量(m ³ /秒)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中
Cs-134(約2年)	ND(0.71)	2.9	0.84	ND(0.63)	ND(0.55)	ND(0.53)
Cs-137(約30年)	10	54	16	ND(0.78)	ND(0.76)	ND(0.78)
全β	15	74	23	ND(3.2)	ND(3.1)	ND(3.0)
H-3(約12年)	-	-	-	-	-	-

* 本枠内が今回公表データ。他は6月21日までにお知らせ済み。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

4/6

2020年6月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水

単位: Bq/L

採取日	採取時刻	福島第一 5.6号機 放水口北側 (T-1)	福島第一 6号機 取水口前	福島第一 物揚場前	福島第一 1~4号機 取水口内北側 (東防波堤北側)	福島第一 1~4号機 取水口内南側 (遮水壁前)	福島第一 南放水口 付近 (T-2)	福島第一 港湾内 東側	福島第一 南放水口 付近 (T-2) ^(注)	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
6月21日	7:50	ND(0.67)	7:41	7:23	7:05	7:09	6:45	6:21日	6月19日		
Cs-134 (約2年)		ND(0.29)	ND(0.50)	ND(0.43)	ND(0.59)	ND(0.85)	ND(0.40)	6:41	8:15	60	10
Cs-137 (約30年)		ND(0.47)	0.74	4.5	10	ND(0.68)	0.55	ND(0.20)	ND(0.71)	90	10
全β		ND(13)	17	14	ND(13)	12	ND(13)	15	ND(0.78)	60,000	10,000
H-3 (約12年)		—	—	—	—	—	—	—	—	30	10
Sr-90 (約29年)		—	—	—	—	—	—	—	—		

単位: Bq/L

採取日	採取時刻	福島第一 港湾内 西側	福島第一 港湾内 北側	福島第一 港湾内 南側	福島第一 港湾中央	福島第一 北防波堤 北側 (T-0-1)	福島第一 南放水口 北東側 (T-0-1A)	福島第一 南放水口 東側 (T-0-2)	福島第一 南防波堤 南側 (T-0-3)	福島第一 南放水口 付近 (T-2) ^(注)	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
6月21日	6:37	ND(0.26)	6:35	6:47	6:39	6月21日	6月21日	6月19日	6月19日	6月19日		
Cs-134 (約2年)		ND(0.33)	ND(0.29)	ND(0.33)	ND(0.55)	ND(0.53)	ND(0.75)	8:15	ND(0.75)	60	10	
Cs-137 (約30年)		ND(0.33)	ND(0.36)	0.34	ND(0.53)	15	ND(0.71)	12	ND(0.71)	90	10	
全β		ND(13)	ND(13)	ND(13)	15	—	—	—	—	60,000	10,000	
H-3 (約12年)		—	—	—	—	—	—	—	—	30	10	
Sr-90 (約29年)		—	—	—	—	—	—	—	—			

* 大枠内が今回公表データ。他は6月20日にお知らせ済み。

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

* 測定対象外の項目は「—」と記す。

* 物揚場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

(注) 地下水バイパス排水の翌朝採取した「南放水口付近海水」については、トリチウムの分析も行っている(2014年10月19日以降)。

* 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第1第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

5/6

6/6

2020年6月22日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果

単位: Bq/L

採取日	採取時刻	貯水量 [m ³]	セシウム134	セシウム137	その他 ガンマ核種	全ベータ	トリチウム	運用目標	告示濃度 限度 ※1	WHO飲料水 水質ガイドライン
東京電力		第三者機関								
一時貯水タンク G (サンブルタンク G)										
2020年6月18日	2020年6月18日	7:29	590	ND(0.49)	ND(0.68)	検出なし	ND(2.1)	1,000	60,000	10,000
7:29	7:29	590	ND(0.75)	ND(0.61)	検出なし	ND(0.37)	1,100	1,500	60,000	10,000
検出されぬこと ※2										
3(1) (注)										

* 第三者機関: 東北緑化環境保全株式会社

* NDは検出限界値未満を示し、()内に検出限界値を示す。

(注) 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を 1 Bq/Lに下げた実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度 (別表第1第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

※2 セシウム134, セシウム137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されぬこと(天然核種を除く)。

15:24

1/1

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第21241報)

2020年6月22日15時15分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第21237報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクFに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水開始 : 10時09分 ・排水終了 : 13時15分 ・排水量 : 460m³ <p>排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有・無

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。